

【シラバスⅡ】令和8年度 評価規準

教科名 公民科		科目名 倫理		
時期・単元	内容のまとめり	知識・技能	思考・判断・表現等	主体的に学習に取り組む態度
4月 第1編 現代を生きる自己の課題	心理学	○パーソナリティ、欲求、感情、認知、発達に関するさまざまな心理学的な知見を理解し、個性や人間の行動を多面的・多角的に説明することができる。	○個性、行動の原因、意欲、動機づけ、知覚、学習、記憶、問題解決、推論、道徳的判断、発達などに関する心理学的な知見、から、人間存在及び他者と共によりよく生きる自己の生き方についての考察を深め、適切に表現することができる。	○パーソナリティ他さまざまな心の在り方に関する理論を手がかりにして、自己の課題や人間としての在り方生き方について主体的に追究しようとしている。
5月 第2編 人間としての自覚	源流思想	○ギリシア哲学、一神教、仏教、中国思想などの倫理に関する諸概念を原典資料から適切に取り取り、理解を深めることができる。またそれらの諸概念を自己の課題と結び付けて説明することができる。	○ギリシア哲学、一神教、仏教、中国思想などの原典を読み解くことで、人間存在及び他者と共によりよく生きる自己の生き方についての考察を深め、適切に表現することができる。	○人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究しようとしている。
6～7月 第3編 現代をかたちづくる倫理	近代西洋思想	○近代哲学を原典資料から適切に取り取り、理解を深めることができる。またそれらの諸概念を現代の課題と結び付けて説明することができる。	○近代哲学を社会と人間の在り方や世界と人間の在り方から考察し、よりよく生きていくために何が重要かについて思索を深め、適切に表現できる。	○真理や存在、個人と社会全体の幸福などについて思索し、自己の生き方、自然と人間との関係、また民主社会の発展のために何をすればよいかなどを考察しようとしている。

8～9月 第4編 国際社会に生きる日本人としての自覚	日本の思想	○原始神道、仏教、儒教、西洋文化などの基本的な知識を原典資料から読み取り、適切に理解し説明することができる。	○日本の先哲の学習を通して、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、適切に表現できる。	○日本の先哲の学習を通して、国際社会に生きる日本人としての自覚を深めるとともに、課題を追究したり解決に向けて構想したりしている。
10月 第3編 現代をかたちづくる倫理	現代思想	○現代哲学を原典資料から適切に読み取り、理解を深めることができる。またそれらの諸概念を現代の課題と結び付けて説明することができる。	○現代哲学を社会と人間の在り方や世界と人間の在り方から考察し、よりよく生きていくために何が重要かについて思索を深め、適切に表現できる。	○人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について、自己の人生観や人間観と結び付けて主体的に追究しようとしている。
11～3月 第5編 現代における諸課題の探究	現代の諸課題	○自然や科学技術との関わりにおける倫理的課題、また様々な他者との協働、共生に向けた倫理的課題に対して、その解決に向けて、これまでの学習を通して身に付けた倫理に関する概念や理論を適切に活用できる。	生きることの意義、自然との調和的な共存関係、先端科学技術の利用と人間生活や社会の在り方、協働、ケア、共生、異文化理解、人類全体の福祉などに着目して、多面的・多角的に考察し、公正に判断して構想し、自分の考えを説明、論述できる。	生命、自然、科学技術などと人間との関わり、また福祉、文化と宗教、平和などについての倫理的課題の探究を通して、多様な他者との対話を通して、人格の完成に向けて自己の生き方を確立しようとしている。
主な評価方法		定期考査 100%	定期考査 100%	行動観察 100% *出席態度など
その他				